

# 子どもの歯

～津山歯科医師会～

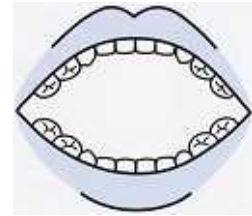


数回にわたり子どもの歯についてお話してみたいと思います。

子どもの口の中にはどのような歯があるでしょうか。年齢によって乳歯だけの場合もありますし、乳歯と永久歯が混在した状態のこともあります。ここでは乳歯が生えてから永久歯だけの口になるまでのお話をしようと思っています。年齢的には小学校卒業頃までのお話になろうかと思っています。

第1回では、乳歯はいつ頃から生えてどのように永久歯に変わってゆくのかをお話しましょう。

乳歯は生後6ヶ月頃、下の前歯から生え始めます。乳歯は何本あるか知っていますか。歯科では乳歯は真ん中から奥に向かってA B C D Eと番号をつけます。すなわち上下左右で20本あります。だいたい2才頃で20本すべての乳歯が生えそろう。しかし個人差もかなりありますので生えるのが遅いからといって心配する必要はまったくありません。



【2歳頃】

2才頃で20本そろそろ乳歯ですが、ほとんどが母親のおなかの中にいる時に生えるときの準備をしてもう出来上がっています。そのためむし歯に打ち勝つ丈夫な乳歯になるようにカルシウム入りのミルクを飲んでも何の役にも立ちません。正常な食生活のお母さんならおなかの中で遺伝子に沿った正常な歯が作られますので安心してください。



永久歯が生え始めるのは6才頃です。永久歯の生え方は2通りあります。今まであった乳歯の下から、乳歯の根を溶かして乳歯が抜けてから生えてくる場合と、乳歯の後方に生えてくる場合です。

永久歯は乳歯と違い、真ん中から 1 2 3 4 5 6 7 8 番と番号をつけます。その 6 番は 6 才頃 E の後方に出てきます。永久歯の中で最も大きく、噛むことの要となるとても大切な歯です。子どもの歯を語る時に 6 という数字はとても大きな意味を持っています。6 番は小学校入学という節目の 6 才頃に生えてきて、最も大きく最も大切な歯だからです。どうぞ皆さんも 6 という数字を頭に入れていただきたいと思います。



下の A が抜けて 1 番が出てくるのも 6 才頃です。その後 1 ~ 5 番までは乳歯が抜けた後に生え変わり、6 番の後方には 7 番が生えて、親知らずを除く 7 番までの永久歯列が完成します。1 ~ 8 番まである永久歯ですが 1 から順番に生えてくるのではないのですね。

サメなどは何回でも生え変わるように何列も並んだ歯を持っています。人間はどうでしょうか。1 回は生え変わるのでしょうか。お話したように 1 ~ 5 は A ~ E が抜けた後に生えてきますが、6 7 は生え変わったわけではありませんね。大切な 6 番は 1 回きりなのです。やり直しは効きません。大切にしたいものです。

お問合せ先：津山市健康増進課      0868-32-2069